

令和2年 第7回 (定例会)

厚真町教育委員会会議録

1 開会

令和2年4月28日 (火) 午後2時30分

2 閉会

令和2年4月28日 (金) 午後3時36分

3 出席委員の氏名

遠藤 秀明 佐藤 泰夫 池川 徹 金光 えり 長門 茂明

4 委員及び傍聴人以外の会議出席者氏名

生涯学習課長 宮下 桂 生涯学習課参事 甫 一樹

【書記】学校教育G主幹 田中 紀嘉

5 会議録署名委員の指名

(長門 茂明)

(金光 えり)

4 教育長報告

(1) 行事参加等の動向 (資料1)

(2) 新型コロナウイルス感染症対策のための一斉臨時休業期間等における

厚真町立学校職員の在宅勤務実施要領の制定について (資料2)

(3) 厚真町教育振興基本計画について (資料10当日配布)

5 所管報告

学校教育グループ

(1) 令和2年度全国学力・学習状況調査の中止について (資料3)

(2) 令和2年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の中止について (資料4)

(3) 令和元年度標準学力調査の保護者への概要公表について

▶社会情勢を踏まえ、5月公表は見送り

(4) 4月校長会・教頭会について (資料5)

(5) 厚真町教育研究所設立準備委員会について (資料11 当日配布)

【質疑なし】

6 議案

議案第1号 厚真町立学校における働き方改革アクション・プランの一部改正について
(別冊1)

【質疑】

佐藤職務代理：教職員の出退勤は、現在どうやって各学校で把握しているのか。

宮下課長：校務支援システムというものが、各学校にあり、それに教職員が自ら記録し出退勤を管理している。

遠藤教育長：しっかり勤務時間を把握し、教職員の働き方を改善していくためのものである。実態を確認し、国や道に伝えていくためにも必要である。

池川委員：タイムカードを導入しないのか。

宮下課長：タイムカードを導入しても、完全に把握するのはむずかしいと思う。いずれにしても、自分で打刻することには変わりはない。参考に道教委の出退勤システムも確認したが、機能はあまり変わらない。

長門委員：教職員が各業務に、どのくらいの時間を費やしているのかまでは確認しないのか。

宮下課長：まずは、出退勤時間を管理するとうこと。

遠藤教育長：厚真町の教職員が過労にならないように、きちんと把握していく。

全委員：異議なし。

議案第2号 文化財の指定について (資料6)

【質疑】

池川委員：厚真神社は築50年程度で、この建築様式は他にもたくさん存在するが、なぜ今回、文化財として指定しなければならないのか。

宮下課長：なぜ厚真神社を指定するのかというと、確かに同じように建築価値があるものはある。今回は、平成30年の胆振東部地震の影響で大きなダメージを受

けた。その後、復旧工事をしていく中で、修繕方法次第では建築価値をなくしてしまうことも考えられる。条例上は、文化財価値の隠滅というが、教育委員会としては、隠滅を防ぐという目的がある。復旧過程の中で、町の文化財として指定することで保存の一助になるという意味合いも含まれる。

全委員 : 異議なし。

7 その他

- (1) グループ業務分担表 (資料7)
- (2) 7月16日 第57回北海道市町村教育委員会研修会 ▶中止
- (3) 新型コロナウイルス感染症対策について (資料9)

8 次回委員会の開催日程

- ・5月28日(木) 午後2時30分(予定)

9 閉会